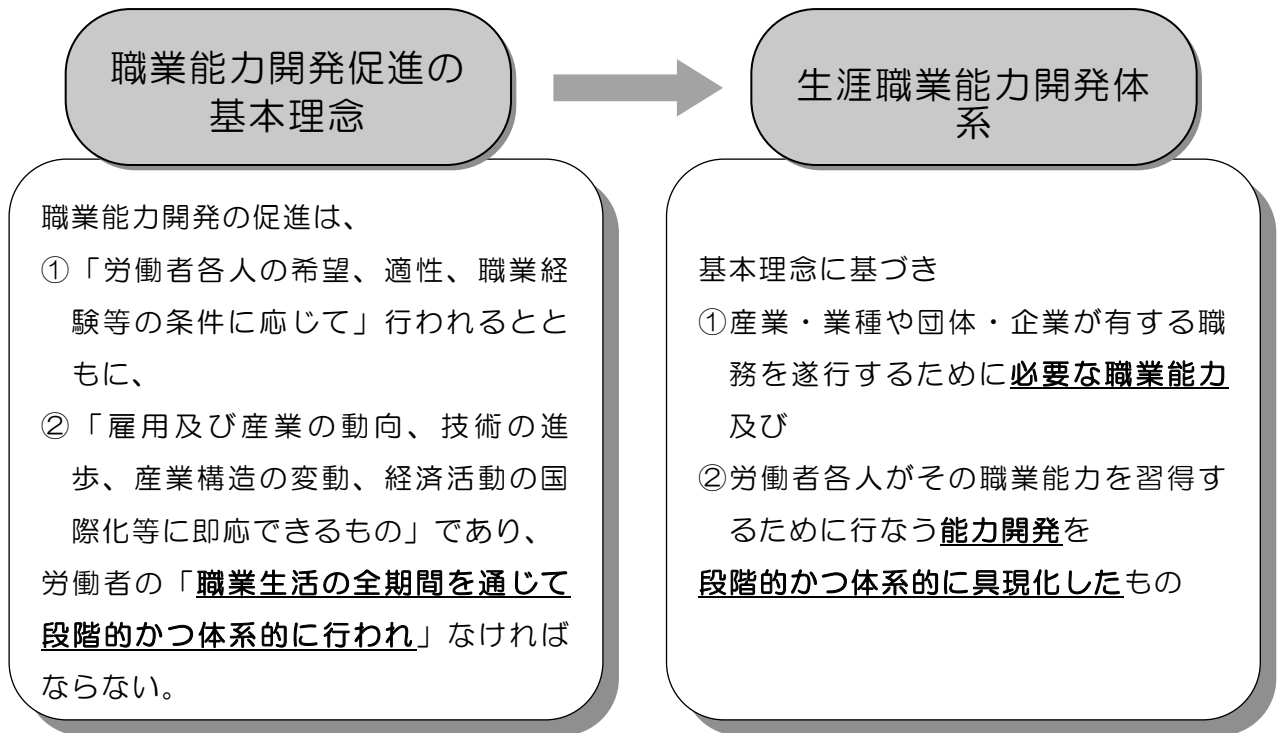


第4章

生涯職業能力開発体系について

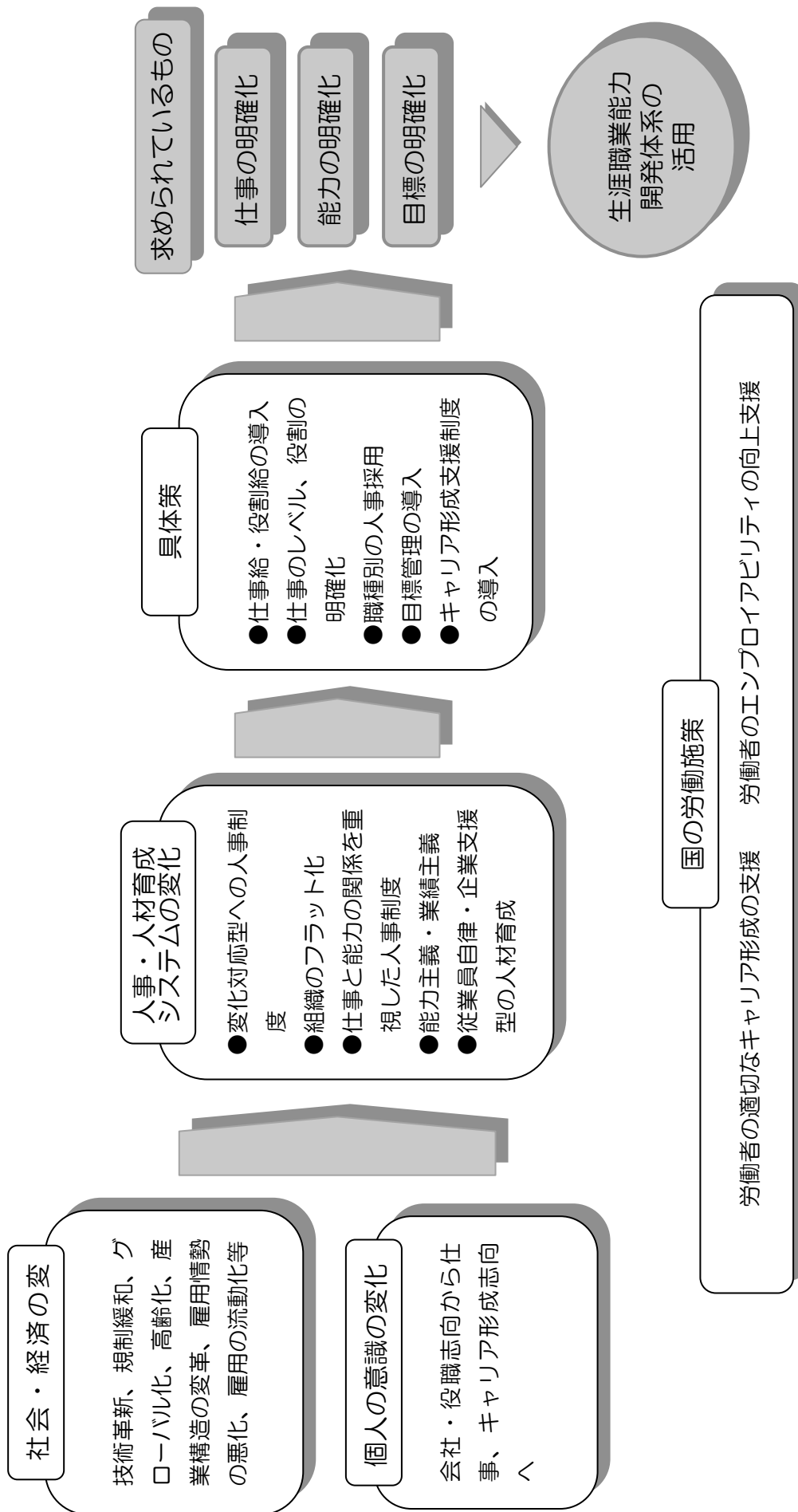
4-1 生涯職業能力開発体系とは



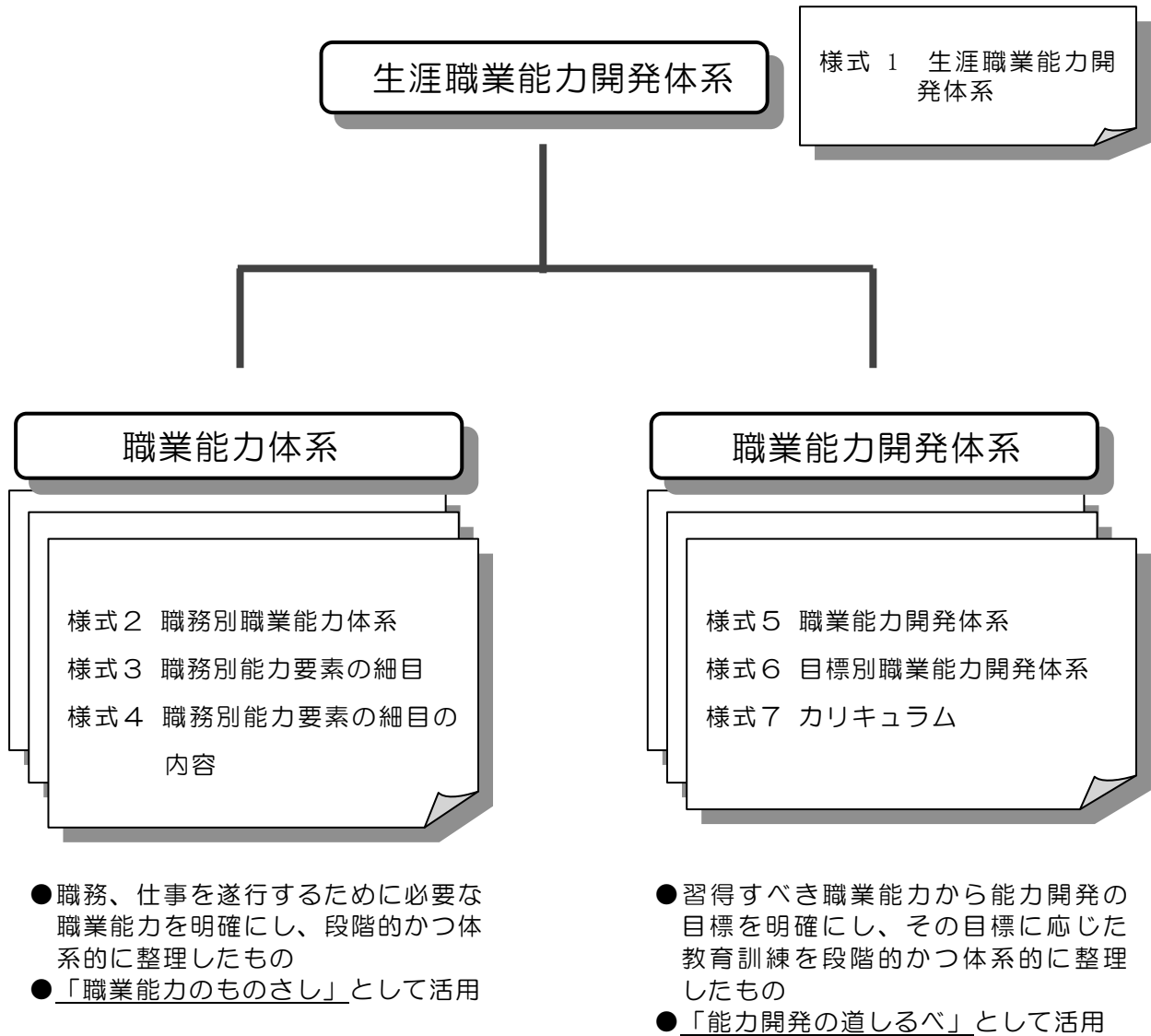
(1) 生涯職業能力開発体系の特徴

- a. 団体・企業が有する、または必要とする職業能力（スキル）が明確になる。
- b. 従業員各人の現在のスキルが明確になり、従業員のスキルの確認、将来目標の設定が容易になる。
- c. 能力開発の成果がスキル向上により明らかになる。
- d. 段階的・体系的な人材育成ができる。
- e. 計画的・効果的な人材育成ができる。
- f. 人員配置や目標に合わせた効果的な人材育成ができる。

4-2 人材をめぐる環境変化と求められているもの



4-3 生涯職業能力開発体系の構成



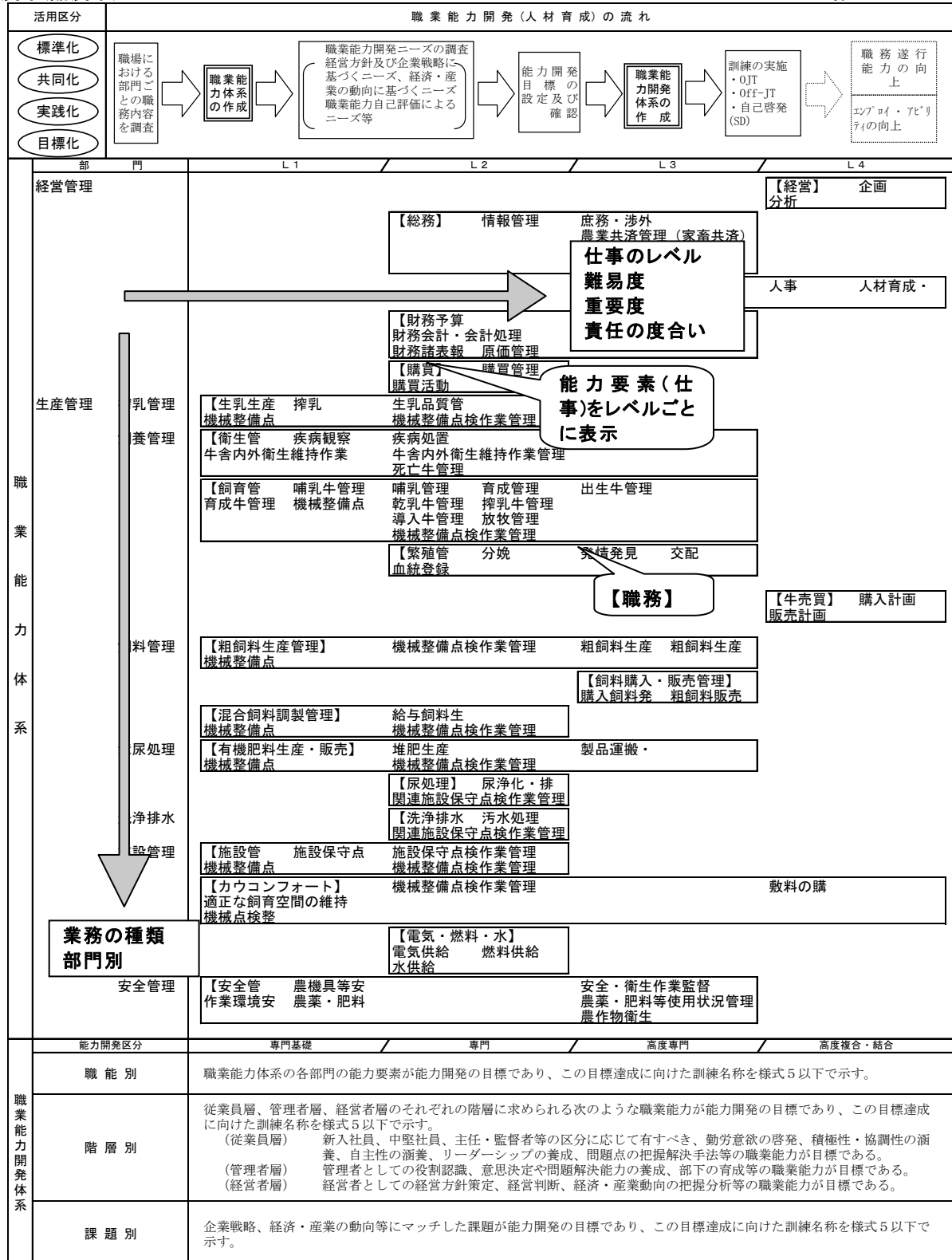
(1) 様式1 (生涯職業能力開発体系)

職業能力体系と職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したもの。

生涯職業能力開発体系

農業(酪農業)

様式1



(2) 様式2 (職務別職業能力体系)

能力要素 (仕事を遂行する能力) を段階的・体系的に示したものの。職務ごとの仕事が明確にできる。

農業(酪農業)

職務別職業能力体系

様式2

部門	職務	レベル	L 1	L 2	L 3	L 4
生産管理 搾乳管理	生乳生産管理		搾乳	生乳品質管理		
			機械整備点検	機械整備点検作業管理		
生産管理 飼養管理	衛生管理		疾病観察	疾病処置	疾病判断・対応	
			牛舎内外衛生維持作業	牛舎内外衛生維持作業管理		
生産管理 飼養管理	飼育管理		哺乳牛管理	哺乳管理	出生牛管理	能力要素 (仕事)
			育成牛管理	育成管理		
			機械整備点検	乾乳牛管理		
				搾乳牛管理		
				導入牛管理		
				放牧管理		
				機械整備点検作業管理		
				分娩	発情発見	
				血統登録	交配	

(3) 様式3 (職務別能力要素の細目)

能力要素とそれを構成する能力要素の細目 (作業を遂行する能力) を示したものの。仕事を構成する作業が明確にできる。

農業(酪農業)

職務別能力要素の細目

様式3

部門	職務	レベル	L 1	L 2	L 3	L 4
生産管理 搾乳管理	生乳生産管理		搾乳	生乳品質管理		
			搾乳	生乳の品質管理		
			機械整備点検 機械整備点検	乳質検査の実施 処理室の衛生管理 機械整備点検作業管理 機械整備点検作業管理		
生産管理 飼養管理	衛生管理		疾病観察 観察	疾病処置 削蹄 (通常削蹄師に依頼) ワクチン接種 (通常獣医師に依頼)	疾病判断・対応 判断・対応	
			牛舎内外衛生維持作業 消毒 害虫防除	投薬 (通常獣医師に依頼) 創傷 ボツテプリスト制度に基づく飼育記録・管理 牛舎内外衛生維持作業管理 牛舎内外衛生維持作業		
生産管理 飼養管理	飼育管理		哺乳牛管理	哺乳管理	出生牛管理	能力要素 (仕事)
			哺乳	哺乳管理	出生直後の処置	
			施設管理	育成管理	耳標の届出管理	
			離乳	育成管理		
			除角	乾乳牛管理		
			育成牛管理	給餌		
			給餌	搾乳牛管理		
			繁殖	給餌		
			バドック放牧の実施	繁殖		
			委託育成の実施	導入牛管理		
			機械整備点検	衛生管理		
			機械整備点検	放牧管理		
				放牧 牧区管理 放牧地管理 定期検診		

(4) 様式4 (職務別能力要素の細目の内容)

能力要素の細目を構成する知識及び技能・技術の内容を示したもの。作業を行うために必要な能力が知識及び技能・技術により確認できる。

農業(酪農業)

職務別能力要素の細目の内容

様式4

職 務	飼育管理		レベル表示	L 1
能力要素	哺乳牛管理			
能力要素の細目	能力要素の細目の内容			
1. 哺乳	知識	1. 哺乳牛の適正な発育について知っている 2. 哺乳について知っている 3. ミルクの給与量を知っている 4. ミルクの給与時の適温を知っている 5. 給与飼料の記録(伝票の保管)を知っている		
	技能技術	1. ミルクを哺乳バケツで給与できる 2. 代用乳を保管できる 3. 哺乳バケツを洗浄・保管できる		
2. 施設管理	知識	1. 哺乳牛の防寒対策を知っている 2. 哺乳牛の発育適温を知っている 3. 哺乳牛の飼育環境(温度、隙間風、敷料、給水)を知っている		
	技能技術	1. ペンの設置ができる		
3. 離乳	知識	1. 離乳について知っている 2. 固形飼料について知っている		
	技能技術	1. 離乳できる 2. 固形飼料を給与できる		
4. 除角	知識	1. 除角について知っている		
	技能技術	1. 除角できる。		

(5) 様式5(職業能力開発体系)

職業能力開発体系の全体像を鳥瞰できるように示したものの。職能別、階層別、課題別に訓練名称を段階的・体系的に示している。(本調査研究では作成に至っていない)

職業能力開発体系							能力開発のレベル 4段階で表示	様式5
○○製造業								
区分	部門	職務	専門領域	専門	高度専門	高度複合・統合		
職能別	経営	経営企画		企画書作成	企画・発想力開発	経営戦略		
	総務	総務業務	OA操作・文書作成 一般総務業務	文書・資料作成管理実務		企画立案		
				法務・渉外実務	法務・渉外管理			
	人事	人事・労務管理	人事・労務の基礎	人事・給与・社会				
				労務企画管理 能力開発実務				
	経理	財務・税務会計	経理の基礎	財務会計実務	財務会計			
				税務会計実務				
				原価計算実務 管理会計実務				
	営業	営業企画管理		マーケティング実務		営業・マーケティング戦略		
		営業活動	営業販売基礎技術	営業技術	販売管理	マーケティング		
生産管理	工程管理	生産管理基礎	生産計画					
	設備管理		工程管理			生産システム設計		
品質管理	品質管理							
製造 組立	部品実装組立	機械部品組立基礎				新素材加工の動向 最先端切削加工技術		
		電装部品組立基礎						
	製造	旋盤加工	機械図面の見方	旋盤(3)	旋盤エキスパート			
			旋盤(1) 旋盤(2)	旋盤応用(1) 旋盤応用(2)				
技術 電装設計	実装設計	フライス盤加工	フライス盤基礎 フライス盤応用	難削材切削加工技術				

区分	階層(訓練対象者)	専門領域	専門	高度	高度複合・統合	
階層別	新入社員	新規採用	会社概要 マナー基本	仕事の進め方 ビジネスマナー		
		中途採用	会社概要	仕事の進め方		
	中堅社員	総合職		OJTの基本と実践 問題解決手法 コミュニケーション	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導	
			技術職	OJTの基本と実践	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導	
	管理・監督者			人の扱い方		
経営幹部				標準管理実践 戦略発想		

区分	課題	専門領域	専門	高度専門	高度複合・統合
課題例	IT化推進	情報リテラシー	OA研修	インターネット利用技術	
			パソコン利用技術		
	営業力強化	顧客折衝力強化	ディベート術	電子商取引技術	
				プレゼンテーション技術	提案型営業 コンサルティング 営業
	顧客情報管理強化		顧客管理技術(CRM)	ナレッジマネジメント	
国際化	国際対応力	英会話初級	ビジネス英語		

(6) 様式6 (目標別職業能力開発体系)

職能別、階層別、課題別に、能力開発目標ごとの訓練名称を示したもの。能力開発の目標とそれに対応した訓練名称が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない)

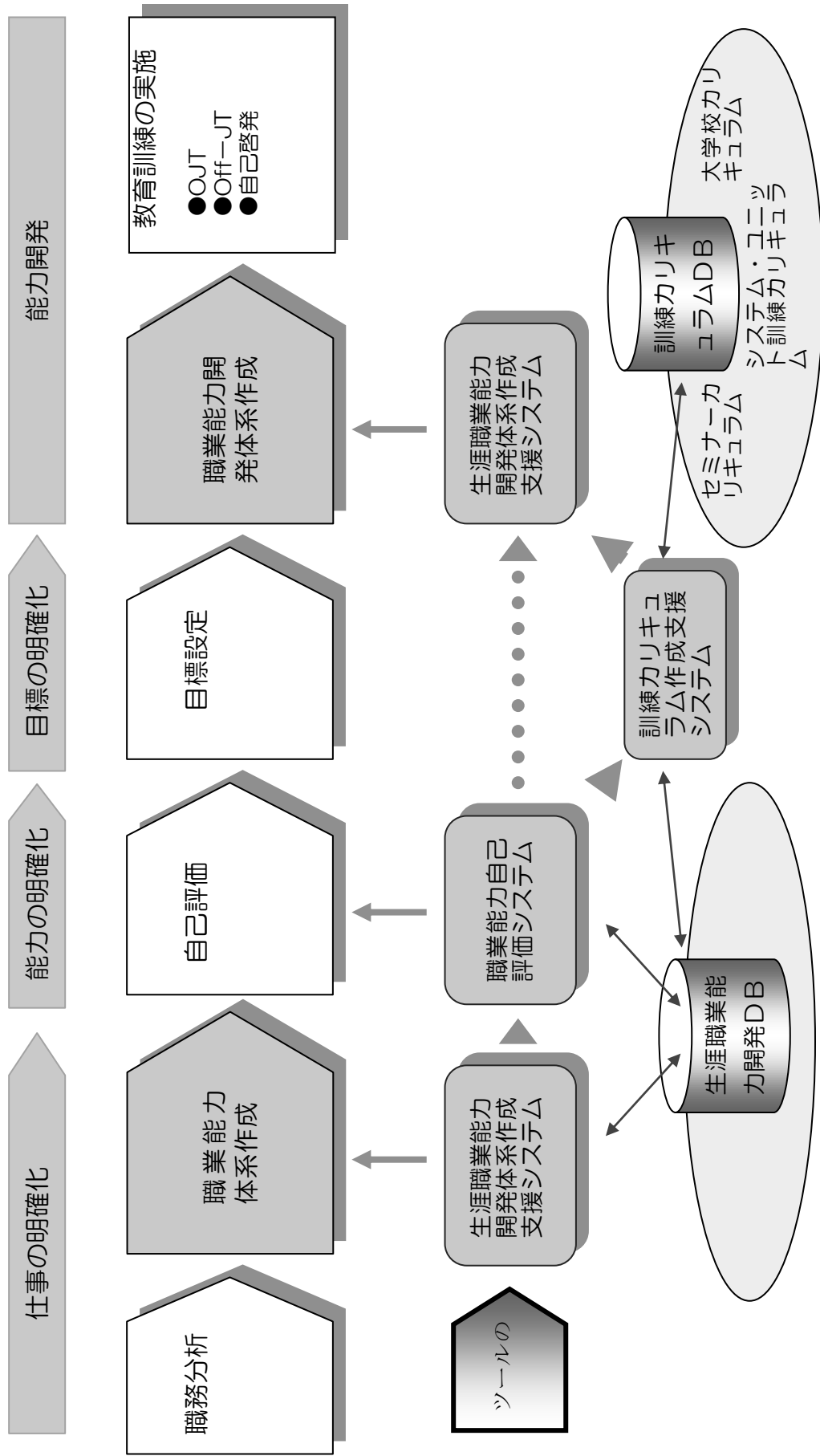
○○製造業		目標別職業能力開発体系			様式6 (職能別)	
部門 職務	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合	
製造 旋盤加工	* 外形加工 旋盤による高精度加工を習得する。	図面の見方 旋盤(1)	旋盤(2) 旋盤(3) 旋盤(4) 旋盤(4)	旋盤応用(1) 精密切削加工 旋盤のエキスパート	先端切削技	新素材加工
能力要素により設定		訓練名称				
能力要素に関する具体的な目標を設定						
階層(訓練対象者)	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合	
中堅社員	中堅の役割としての部下の育成及びリーダーシップ等をはじめとする統率力を身につける。 技術食に必要なリーダーシップとする指導をつける。		OJTの基本と実践 コミュニケーション 問題解決手法 OJTの基本と実践	マネジメント基礎 リーダーシップ 部下の指導 マネジメント基礎 リーダーシップ	訓練名称	
階層に求められる具体的な職業能力により設定						
課題	能力開発目標	専門基礎	専門	高度専門	高度複合・統合	
IT化推進	全社的な情報化を推進するために必要な情報リテラシーの向上。 インターネット上における	OA研修 パソコン利用技術	インターネット利用技術	電子商取引技術	訓練名称	
営業力強化	顧客情報管理強化	ディベート術	プレゼンテーション技術	提案型営業 コンサルティング営業	ナレッジマネジメント	
国際化	国際対応力の強化	英会話初級	ビジネス英語	顧客管理技術(CRM)		
具体的な課題により設定						

(7) 様式7 (カリキュラム)

訓練名称のカリキュラムを示したものの。訓練を実施するための具体的な内容が確認できる。(本調査研究では作成に至っていない)

区分		作成者又は 実施機関名	ポリテクセンター〇〇 (tel : xxx-xxx-xxxx)	管理番号	S401-107-4
訓練名称		営業・マーケティング戦略			
訓練対象者		営業部門管理職、営業リーダー			
訓練目標		マーケティングの理論と営業メンバーの行動管理の方法を習得し、戦略的な営業活動を立案できる人材を育成する。特に顧客リーダーの変化や顧客の経営課題に対応した提案技法を習得する。			
細目	内 容			訓練時間(h)	
1. 企業経営と経営戦略	(1) 経営ビジョンの考え方 (2) 環境分析 (3) 経営戦略			3.0	
2. マーケティングの枠組み	(1) マーケティングの意義と役割 (2) マーケティング戦略の考え方 (3) マーケティング情報の収集と探索			1.5	
3. マーケティング戦略の展開の考え方	(1) 市場戦略 (2) 商品(サービス)戦略 (3) 価格戦略 (4) 販売促進戦略			2.5	
4. 顧客への提案書づくりの考え方と進め方	(1) 顧客の問題点の発見方法 (2) 課題の解決方法 (3) 提案作業と提案作成			5.0	
5. 営業組織とシステム開発組織のあり方	(1) 市場対応型営業組織の考え方 (2) システム開発組織のあり方			3.0	
6. 営業メンバー行動管理	(1) S F Aの考え方と進め方 (2) 効率的な営業活動指針 (3) 営業活動管理の考え方 (4) 営業計画の策定			3.0	
				訓練時間合計	18.0
使用機器・教材等		テキスト、資料、OHP、事例シート、チェックシート			

4-4 生涯職業能力開発体系を活用した人材育成の流れ

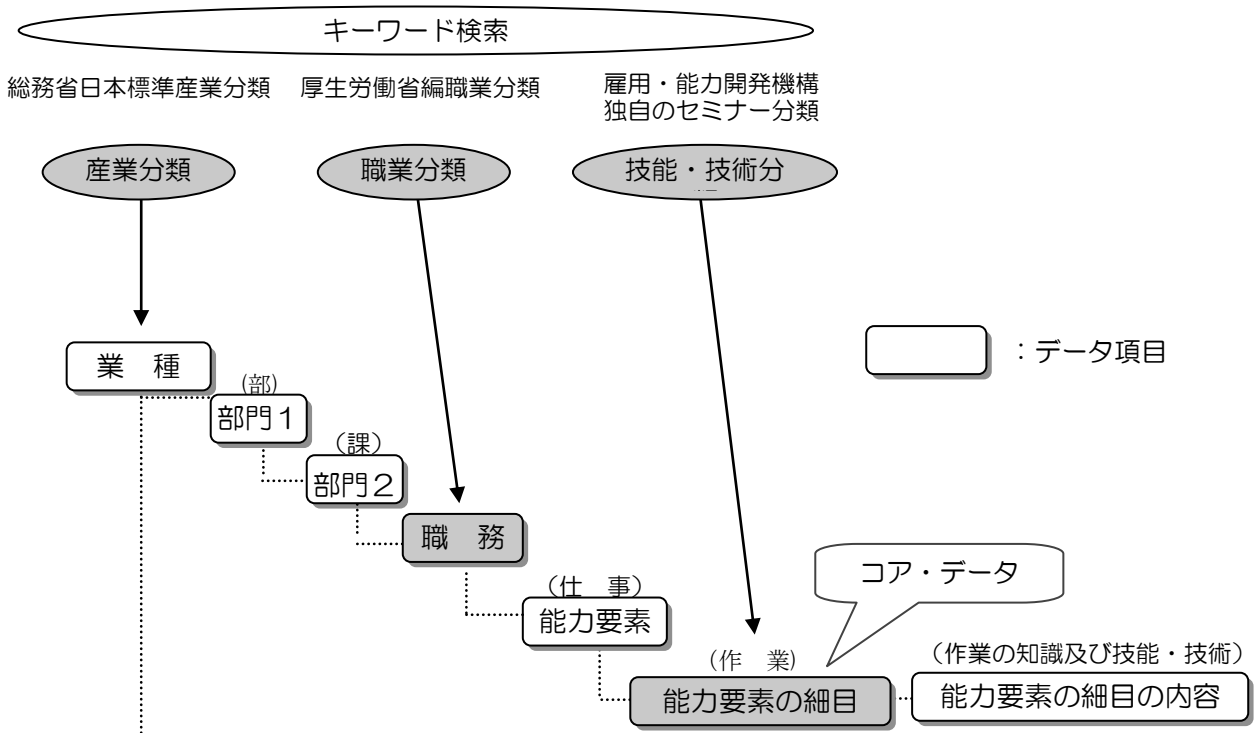


4-5 生涯職業能力開発体系のデータ構造

生涯職業能力開発体系の拡充と普及を促進するため、データの構造化に当たっては、名称に一定の基準が必要となるため、「業種名」では、原則日本標準産業分類の小分類もしくは細分類を採用することとしている。

また、「職務名」については、厚生労働省編職業分類を基本としているが、中央団体及び専門委員との協議の上選定することとしている。

生涯職業能力開発体系(職業能力体系)のデータ構造



(例)

電気機械器具製造業	製造	加工	旋盤加工	外径加工	加工準備	旋盤各部の名称を知っている 機械図面の読方を知っている 各部の注油と点検ができる 加工工程を組むことができる
	総務	庶務	庶務管理	庶務・渉外実務(補助)	文書作成	社内文書と社外文書の種類、用途を知っている 書式通りに文書を作成できる 簡単な帳票類を作成ができる

